

選 挙 公 報

役員候補者選挙について

	定数	立候補者数
理 事	11～15 名	17 名
監 事	2 名以内	2 名

立候補者数は上記のとおりであり、「理事」において選挙が行われます。

「監事」は定数内であり、無投票当選となります。

投票方法 : 投票用紙郵送による投票

投票期間 : 令和3年4月12日から4月16日(必着)

開票日 : 令和3年4月17日

*開票結果は翌日以降にホームページに掲載

令和3年3月

公益社団法人石川県理学療法士会
選挙管理委員会

理事立候補者

定数 : 11～15名

立候補者数 : 17名

【氏名】 北谷 正浩

【年齢】 60歳

【所属先名称】 公立羽咋病院

【立候補の趣旨】

私は、平成7年から理事・副会長として長年にわたり士会活動に携わらせていただきました。その間、保健福祉分野の活動を担当させていただき、平成19年の能登半島地震の災害支援活動や平成22年の石川県訪問リハビリテーション連絡会の発足など現在の地域包括ケアシステムの礎となる活動が、私の大きな財産となっています。今後は、その経験を活かし2025年の地域包括ケアシステムの完成に向け、士会員の皆さんとともに、新しい生活様式にそった組織的な活動の充実を目指し、公益性の高い団体として、既成概念に拘らず、他団体と連携しながら様々なChallengeをすることで、理学療法の質向上に寄与し、会員の皆様が会員であることの有益性が実感でき、その取り組みが、「全ては県民のために」なるような結果を出せる団体の代表として今後も携わりたいと考え、立候補させていただきました。よろしくお願いいたします。

【氏名】 石田 修也

【年齢】 40 歳

【所属先名称】 リハビリ&フィットネス寿リハ神宮寺店

【立候補の趣旨】

この度、理事に立候補する石田修也です。私は現在、会において日本理学療法士協会から委託されている住民主体型介護予防事業の全国普及事業を担当させていただいております。石川県内においては2年前よりシルバーリハビリ体操指導士養成事業を活用した介護予防事業のシステムを会と行政が協働で構築する取り組みを支援してまいりました。現在までに志賀町、中能登町でスタートし、令和3年度からは珠洲市、七尾市でスタートと拡大してきています。このような取り組みは、公益性の高い職能団体でなければ実施できません。特に奥能登地区のような専門職が少ない地域では会による全県体制での支援が不可欠となっています。会が先導して石川県における地域リハビリテーション機能の充実と理学療法士活躍の場を創出し、会員が地域における理学療法を幅広く実現できるような関わりに携わりたいと考え立候補させていただきました。よろしくお願いいたします。

【氏名】 浅川 佳祐

【年齢】 32 歳

【所属先名称】 リハビリ&フィットネス 寿リハ泉野

【立候補の趣旨】

この2年間理事として活動させていただき、士会活動全体を俯瞰することができました。この間、士会活動を通じて、理学療法の社会的認知度の向上にも努めてまいりましたが、まだまだ不十分であると言わざるを得ない状況です。また、リハビリテーション医療の中での理学療法に会員の活躍の場が偏っており、将来的な人口減少の時代に備えた職域拡大が重要であると考えます。予防的介入や教育的介入により、元気に地域で活躍する高齢者を増やしていく活動は徐々に浸透しており、今後一層の活動展開が社会全体の益に資すると思えます。また、労働者への理学療法的視点から直接的な介入や動作指導、環境調整等による労働衛生の改善、生産力の向上等、限られた資源を有効に活用した取り組みの実践による職域拡大も重要であると考えます。それにより会員の「なりたい理学療法士」として活躍できる体制づくりと県民の医療・保健・福祉の向上を目指し立候補いたします。

【氏名】 野口 雅弘

【年齢】 43 歳

【所属先名称】 金城大学

【立候補の趣旨】

私は平成 21 年から県士会ニュース編集部に所属し、10 年以上部員として県士会ニュースの発行に関わってきました。平成 23 年からはニュース編集部部長、平成 29 年からはニュース編集担当理事として県士会役員も務めて参りました。この間県士会ニュースは県士会編集部員の皆様の協力もあって、新しい企画の立ち上げや各部署との連携強化により、県士会員の皆様に多くの県士会活動の詳細を届けることが出来ました。

今後は理学療法士の役割、県士会の活動の詳細を会員のみならず、多くの県民の皆様に広報していく必要があります。今後県士会はニュース発行と広報誌やホームページなどによる広報活動を統括したメディアネットワーク部を作るなど、組織体制を新しくしていきます。私のこれまでの経験を新しい組織体制で活かしていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

【氏名】 山川 友和

【年齢】 44 歳

【所属先名称】 石川県済生会金沢病院

【立候補の趣旨】

私はこれまで学術局（主に生涯学習）の担当理事を務めさせていただきました。2021 年 2 月現在、新人教育プログラムの修了者は 978 名（県士会員の 76.5%）、認定理学療法士は 61 名（4.8%）、専門理学療法士は 41 名（3.2%）です。北陸三県で見ると、いずれも低いパーセンテージです。これが自分の行ってきたことの結果と受け止めております。2022 年度から新しい生涯学習制度が始まります。新しい生涯学習制度について、少しでもわかりやすくお伝えすることで、制度内容を把握していただき、各々の目的をもって生涯学習に取り組めるよう努めてまいります。まずはスムーズに新しい制度に移行できるように情報適用をはじめ、事業遂行のために働きたいと思っております。生涯学習制度における資格取得が目的ではなく、取得するまでの過程で理学療法士として働く意欲に結びついたり、社会的にも臨床的にも学術的にも様々な事項に気付くきっかけとなるように生涯学習制度を利用していただければと考えております。生涯学習制度を有効活用できるように働く所存です。皆様のご支援どうぞよろしくお願い申し上げます。

【氏名】 小堺 武士

【年齢】 41 歳

【所属先名称】 北陸病院

【立候補の趣旨】

未曾有のコロナ禍の中、これまでの当たり前が当たり前ではなくなってきました。同時に、これまで慣習的に行ってきたものの一部は無くても不自由しないということが分かってしまいました。士会活動も例外ではなく、これからは一層県民や会員にとって有益な事業運用が求められると感じています。

一人ひとりの士会員が幅広い分野で活躍し県民の健康増進に寄与できるよう、下記を私の県士会活動のテーマとして引き続き活動していきたい所存です。

- ・事業計画や予算の適正化、士会事務機能の合理化、各種規約等の見直しを行います。
- ・市町担当理学療法士を育成し、市町ごと、二次医療圏ごとのセラピスト間の情報共有と意思決定を後方支援できる士会を目指します。
- ・広報活動を抜本的に見直し、開かれた石川県理学療法士会を目指します。
- ・若手理学療法士の活躍の場を創出し、急性期から生活期まで幅広い人材の育成ができる士会を目指します。

【氏名】 諏訪 勝志

【年齢】 54 歳

【所属先名称】 在宅複合施設ほのぼの

【立候補の趣旨】

理事を 4 期務め、今後もより石川県理学療法士会の組織力強化と活性化を図っていきたいと思っています。2020 年度は、コロナ禍の状況の中で士会事業の変容を余儀なくされましたが、今後も以前の状況には戻ることは考えにくいという認識の下で士会事業を展開していかなければなりません。それらのことを考慮しながら、理学療法士の職域拡大、若手の育成、2025 年の地域包括ケアシステム構築に向け地域で活動できる理学療法士の育成、理学療法の普及啓発のため、これまでの経験を活かし理事としての役割を果たしていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

【氏名】 土山 裕之

【年齢】 55 歳

【所属先名称】 金沢脳神経外科病院

【立候補の趣旨】

コロナ禍にて経済が停滞する中、超高齢化社会を迎え、医療や介護のみならず健康寿命を延伸するための医療政策の中に我々ができることを今以上にアピールする必要があると思います。リハ従事者としての理学療法士に何ができ、どのように社会の役に立つのかを今一度考え、新たな政策が必要であると感じました。病院管理・教育者として、脳卒中分野の理学療法における経験を活かし、多団体と共働していける組織づくりのお手伝いをしたいと思います。そのためには、県内での理学療法士の一体感を増すため、施設間の理学療法の責任者のつながりの強化、行政との連携や予算の確保、臨床実習教育や生涯学習の教育体制の構築などが必要と考えております。これまで県士会において、部長、理事、監事と歴任してきましたが、この激動の時代に気持ちを新たにし、お役に立ちたいと考え立候補しました。

【氏名】 平木 清喜

【年齢】 51 歳

【所属先名称】 石川県リハビリテーションセンター

【立候補の趣旨】

この度、石川県理学療法士会理事に立候補いたしました石川県リハビリテーションセンターの平木清喜と申します。10 年余り、疾病予防事業部部長（平成 28 年度までは生活習慣病予防事業部）として、主に糖尿病予防の活動に携わってまいりました。この間、多くの会員の皆様に協力していただき、様々なことを学ばせていただきました。現在、新型コロナウイルス感染症による「生活不活発（フレイル）に対する予防的な取り組み」や「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に向けての取り組み」など、予防事業に対する理学療法士の関わりがこれまで以上に重要となるものと思われまます。

理学療法士の役目である、予防事業にこれからも関わるためには、士気を高めて積極的に取り組む必要があると思ひ、多くの会員の皆様と力を合わせて、微力ではありますがその役割の一端を担わせていただきたいと思いますと思ひ立候補いたしました。よろしくお願ひいたします。

【氏名】 霜下 和也

【年齢】 40 歳

【所属先名称】 芦城クリニック

【立候補の趣旨】

2年前に加賀地区の先輩方のご推薦を受け、理事として活動させて頂くことになり、主に職能局担当として各事業に携わってきました。社会的なテーマである地域包括ケアシステムの構築は、全国一律ではなく、地域の実情に応じて作り上げていくことが求められています。石川県の中においても市町によって課題や取り組みが異なっており、これまで以上に地域レベルでの情報共有や理学療法士間及び職種を超えた連携やネットワークづくりが重要になると考えています。これらに対応するためには、職能団体としても各地域の課題を適切に捉えて組織的に取り組んでいく必要があります。今後支部活動の充実に向けた組織改編や事業が予定されています。これらの成熟は、結果として対象者や地域のためになり、理学療法士の価値や存在を高めることになると考えますので、微力ではありますが、引き続きこれらに貢献したく、理事に立候補致します。

【氏名】 成宮 久詞

【年齢】 35 歳

【所属先名称】 JCHO 金沢病院

【立候補の趣旨】

私は、2014年からスポーツ障害予防事業部の部長として活動してきました。事業内容は、国体強化選手事業をはじめ、高校野球では大会サポート、肩肘検診、中学生野球選手への指導、一般スポーツ選手への相談事業、障がい者スポーツサポートに至るまで、幅広く活動を行っています。スポーツ分野の理学療法に対するニーズは高く、これまでも外部団体からの依頼に対応する中で、会員の皆様のご協力を得て少しずつ活動範囲が広がりました。前年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限されましたが、オンライン指導を行うなど、活動を継続してきました。今後も県内のスポーツ選手に対して、少しでも貢献できるよう体制を整える必要があると考えています。スポーツ分野で培った経験を活かし、微力ながら県土会の運営に尽力したいと考えております。よろしくお願ひします。

【氏名】 吉本 真樹

【年齢】 47 歳

【所属先名称】 石川県立中央病院

【立候補の趣旨】

平成 23 年から当士会の理事として微力ながら活動してまいりました。現在は社会局におけるスポーツ障害予防事業部・健康相談事業部・疾病予防事業部、災害対策委員会での活動を主に担当しています。社会局ではスポーツ分野でのサポート活動、健康増進や疾病予防の啓発・普及など、各部の皆様とともに活動しております。また、災害対策におきましては、士会内での体制づくりの他、県内外での大規模災害に備えて JRAT 石川との連携強化を委員の皆様とともに図っております。

これまで会員の皆様のご理解とご協力をいただきながら活動してまいりましたが、まだ道半ばであり、未熟ではあります。今後も石川県理学療法士会の運営に尽力したいと考えておりますので立候補させていただきます。

【氏名】 木村 創史

【年齢】 37 歳

【所属先名称】 城北病院

【立候補の趣旨】

私は平成 31 年度より理事を務めさせていただきました。担当は職能局として、地域包括ケアシステム推進に関わる事業に携わってまいりました。昨今、地域包括ケアに関心のある会員が増えてきていることを実感しております。一方で、地域包括ケア推進へ向けた人材育成や職域の拡大などの課題も感じております。人材育成に関しては、わかりやすい制度設計や OJT 等の活用、多市町の経験交流などによる質の向上、職域拡大に関しては、理学療法士が地域に関わる実績を積み上げ、地域住民の信頼を得ながら、その効果を広く示す事が重要だと感じております。多くの理学療法士が地域に関わることで、多くの方が健康になると思います。まだまだ、経験も浅く、未熟ではございますが、県民のために、石川県理学療法士会の発展、会員の活動を支援し、今後も尽力してまいります。

【氏名】 西田 好克

【年齢】 44 歳

【所属先名称】 芳珠記念病院

【立候補の趣旨】

私はこれまで事務局ニュース編集部、職能局業務推進部として県士会活動に携わってきました。また当院のある能美市では能美市リハビリテーション連絡会の役員として関わってきました。これまで体験してきたこと、そして私たちを取り巻く環境から職能団体としての存在意義が対外的にも対内的にも大変重要性を増していると感じています。今後、士会の役割も、それに合わせた活動も大きく変化することと思います。

このような局面だからこそ理事にかかる期待も大きいと感じますが、私のこれまでの経験がここで生かされるならば大変うれしく思います。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

【氏名】 狩山 信生

【年齢】 44 歳

【所属先名称】 専門学校金沢リハビリテーションアカデミー

【立候補の趣旨】

石川県理学療法士会に入会後、20年にわたり様々なお支援を頂くと同時に貴重な経験をさせて頂きました。厚生部、研修部の活動では、会員にとっての福利厚生、会員にとっての有益な研修とは何か、多くのご意見や助言を賜りながら成長の機会を頂きました。先人の皆様が構築されてきた理学療法士としての専門性、社会性を若い会員の方々へ還元し、さらに発展させるべく有益な活動を推進したいと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。

【氏名】 丸居 夕利佳

【年齢】 36 歳

【所属先名称】 金沢西病院

【立候補の趣旨】

2025 年を目途とした地域包括ケアシステム構築にあたり、石川県理学療法士会も社会の役割を果たせるよう、迅速かつ組織的に対応していかなばなりません。私は、2 年間職能局担当理事として、理学療法士の各地区のネットワーク事業をはじめ、シルバーリハビリ体操の普及・啓発活動やオンラインイベント等の新しい事業にチャレンジしてまいりました。事業を通じて、地域での理学療法士の職業使命を再確認できた一方で、理学療法士の役割が他職種や行政に十分に理解されていない現状も知ることができました。更なる当会の発展のためには、各地区の活性化、地域の活動家となる住民や理学療法士の育成、他職種や行政への渉外力の強化が重要であると感じております。

今までの実績を生かして、さらなる士会の発展のために全力で活動させていただきます。未熟者ではありますが、よろしく願い申し上げます。

【氏名】 濱野 久美子

【年齢】 36 歳

【所属先名称】 珠洲市総合病院

【立候補の趣旨】

私が所属する珠洲市総合病院は奥能登地区にあり、高齢化率の増加による影響を年々強く感じるようになっていきます。穴水以北の 4 市町は高齢化率が 45%以上となり、理学療法士が少ない中でも私たちの関わりが必要なケースは多く、多職種連携や職域の拡大を含めた幅広い活動が求められていると感じています。私が理学療法士会理事として活動できたなら、地域で活動・活躍できる理学療法士の育成に力を注ぎたいと考えております。そのために、奥能登地区で活動する理学療法士の現状把握と課題の抽出・整理を行いながら、地域の方々の暮らしを地域の理学療法士が支えていけるよう、地域の特性に応じた活動体制の検討を行っていきたいと考えています。

職能局業務推進部の部員として活動させていただいた経験をもとに、今後も理学療法士会の活動を通して、より一層地域に貢献していけるよう精進してまいりたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

監事立候補者

定 数 : 2名以内

立候補者数 : 2名

【氏名】 浅井 仁

【年齢】 60歳

【所属先名称】 金沢大学医薬保健研究域保健学系

【立候補の趣旨】

これまで、2期4年間にわたり監事をさせていただきました。この間、会計担当理事、事務局長および事務局と相談し理事会の承認を得ながら、出納業務を大きく変えてきました。1期目の2年間で改善を模索し、2期目の2年間で現在のシステムに移行することができました。これらの導入により、部局毎に現金等の引き出しが可能になると同時に事務局での一元管理が可能になりました。すなわち、従来行われていた事務局が現金を引き出して管理し、各部局の担当者が事務局に出向いてその現金を受領するということが必要なくなり、大幅な省力化が達成できました。加えて伝票様式の変更により、部局毎の出納状況と伝票との照合が容易になり年度末の監査業務も省力化できました。今後、東海北陸学会も控えている中、会員の皆様が士会の業務遂行に専念できますように理事会に様々な意見を出す所存です。今後も皆様の御支援をいただければ幸いです。

【氏名】 宮森 俊充

【年齢】 47 歳

【所属先名称】 浅ノ川総合病院

【立候補の趣旨】

石川県理学療法士会役員歴 2005～2008 年度 広報局担当理事

2009～2016 年度 事務局財務担当理事

私は、石川県理学療法士会（以下士会）の理事として従事し、また、財務担当理事任期中には公益法人への移行に伴い、財務の再構築を行いました。

当士会は、「石川県の理学療法の普及向上を図り、県民の医療・保険・福祉の増進に寄与する」ことを明示しています。監事は、公正な立場で、業務の適正性、財務及び会計の適正性を監査することで、健全な運営と社会への信頼向上につながるよう努めなければなりません。また、公益法人は、法人自らが適切な情報開示を行い、その透明性を高めることも基本にあります。

公益法人における情報開示の適正性として、監事は 5 年以上従事した財務経験者が在籍することが望ましいとされています。

大変未熟ではございますが、私は監事としての役割を担うことで、士会が掲げる活動を支え、士会発展のための一助となるよう務める所存です。